

【すぐに実践可能!】中小企業のための融資一本化セミナー!!

借入が増えた中堅・中小企業必見

2024年
オンライン開催
3月6日(水)・8日(金)・13日(水)
【お申込み期限】3月2日(土) 【お申込み期限】3月4日(月) 【お申込み期限】3月9日(土)
13:30~15:00 (ログイン開始13:00~)

全日程とも内容は同じです。
ご都合の良い日程をお選びください。

本講座はオンライン受講となっております。
諸事情により受講いただけない場合がございます。ご了承ください。
セミナーご参加方法の詳細は「船井総研 Web 参加」で検索。

PC・スマホでセミナー参加 全日程オンライン開催

受講料 一般価格 税抜5,000円(税込5,500円)/1名様 会員価格 税抜4,000円(税込4,400円)/1名様

会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へ ご入会中のお客様のお申込みにご利用となります。

講座

セミナー内容

第1講座

融資条件見直しのポイントについて

コロナ融資の返済本格化がはじまる今こそ、企業にとって資金繰りを見直す絶好のタイミング、改めて融資・返済を見直すための手法を、事例に基づき解説します。

株式会社船井総合研究所 財務支援部 草深 大貴

大阪府出身。メガバンクに新卒で入社し、4年間勤務。法人営業担当として中堅・中小企業を相手に融資のみならず、総合金融グループの提案力を用いて課題解決に尽力。その後、2021年8月に船井総合研究所へ中途入社。的確な分析から導き出した結果に基づき、財務コンサルタントとして企業の成長を持続的にサポート、最適な財務構造の構築と資金調達支援に取り組む。



第2講座

金融機関の支援を勝ち取る融資ロジックをご紹介

融資審査の思考法や流れを知ることで、金融機関から自然に好条件の融資を受けられるような内容をお伝えします。

株式会社船井総合研究所 財務支援部 リーダー 大田 哲弥

地方銀行にて10年以上に亘り中小企業向けの融資営業に従事。「経営者の気持ちに寄り添う」ことを自身の使命として活動し、営業部門において3期連続で優秀行員に選出される。営業のほか、業績悪化時の支援や、審査部での融資案件審査の経験もあり、複眼的な財務支援が可能。



第3講座

明日からすぐに取り組んでほしいこと

セミナーで最も重要だった点をまとめ、明日からのアクションプランを提示します。

株式会社船井総合研究所 財務支援部 リーダー 大田 哲弥

資金繰り改善に
即効性あり!

融資1本化

3つのポイントをおさえるだけ!

“脱”利益は出ているけど
なぜかお金が貯まらない企業

復活セミナー

1本化を実現する方法を公開!!
アフターコロナの借入計画が成長のカギ!!

このような方におすすめ

借入の本数が4本以上ある企業の経営者
制度融資を活用した調達が重なり借入本数が増えた企業の経営者
融資の見直しをすることで、返済負担を軽減したいと考えている事業者

お申込み方法

【QRコードからのお申込み】右記のQRコードを読み取ってお申込みください。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。

【PCからのお申込み】下記セミナーページからお申込みください。

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/109733>

【TEL】0120-964-000(平日9:30~17:30)

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。また、お問い合わせの際は「お問い合わせNo.とセミナータイトル」をお伝えください。



主催



サステナブルグロースカンパニーをもっと。

Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル ※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNo.・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください。

資金繰り改善に即効性あり!中小企業向け融資一本化セミナー! お問い合わせNo.S109733

船井総研セミナー事務局 E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

当社ホームページからお申込みいただけます。船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。 109733

返済負担を減らしながら成長投資を続けるための 銀行対応の方法を大公開!



「融資1本化」の実現に向けた銀行対応方法をセミナーにて徹底解説!!

チェックポイントを網羅した対応が成功の鍵

Checkpoint 1



返済額の把握

- ・据置期間の確認
- ・保証協会、プロパー融資の区別
- ・担保、保証の確認



Checkpoint 2



**キャッシュ
フロー**の把握

- ・現在のキャッシュフローの金額
- ・今後のキャッシュフローの金額
- ・コロナ前後のキャッシュフローの違い



Checkpoint 3



銀行打診の方法

- ・企業規模にマッチしたメインバンクの選定と打診
- ・リスク扱いにさせない打診方法

ゼロゼロ融資がなくなった今、融資1本化を筆頭に具体的に検討すべき資金繰り改善手法はこちら

❶ 借入の1本化で返済額を圧縮

毎月返済がある借入が複数走っている場合、その借入残高を合計して新しく1本の借入を行い、既存の借入を一括返済することで、毎月の返済額を軽減できます。しかし、進め方を誤るといわゆる「リスケジュール」と認定されてしまい、新たな借入が難しくなるので慎重に進めなければなりません。

❷ 短期継続型融資の活用で、継続した企業成長を実現

運転資金については毎月返済のある長期借入ではなく、手形借入や当座貸越枠の活用により切り替えることで資金繰りの安定化を図れます。継続した成長を実現している企業は、短期継続融資を上手く活用しています。

❸ 資本性ローンの導入で、返済額を増やさず銀行評価UP

資本性ローンとは、金融機関から「自己資金とみなされる」特性をもつ融資商品のことです。毎月返済がなく、期日一括返済のため、資金繰りを痛めません。また、金融機関からは資本とみなされないため、財務体質の改善が可能であり、金融機関からの借入も受けやすくなります。

❹ 借換制度を活用し、据置期間を再設定

ゼロゼロ融資は終了しましたが、実は2023年1月10日より「コロナ貸替保証制度」が創設されました。最大1億円まで、ゼロゼロ融資含めた保証協会付融資の置換が行え、据置期間を再設定可能であり、返済負担軽減ができます。

お申込み方法

右記のQRコードを読み取りいただき、お申込みフォームよりお申込みください。 <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/109733>

セミナー情報を当社ホームページからもご覧いただけます!



セミナーの
お申込みは
こちらから

